



一般社団法人 府中青年会議所

Junior Chamber International Fuchu

挑戦

～今持つ全ての力を出しきって～

府中グローバルビジネスコンテスト fuchu GRIP



10月29日(土)に府中グローバルビジネスコンテスト「fuchuGRIP」決勝プレゼンテーションを開催いたしました。地元府中・東京・大阪・シンガポールなど各地より応募があり、決勝プレゼンテーションでは書類選考を通過した4つのビジネスプランが発表されました。

厳正なる審査の結果、以下の2つのプランが受賞しました。最優秀賞「手紙をベースにしたコミュニケーション支援」審査員特別賞「monomira ～ものづくり未来図～」

今後は、それぞれのプランをより具体化し府中市での起業を視野に活動を進めて頂きます。

発表プランの中には、AR(拡張現実)などの新技術を活用したプランや、新たなプラットフォームを目指すプランもあり、当日ご参加頂いた皆様には刺激を受けていただけたと思います。また、審査員の皆様からは提案を含めた建設的なご意見・ご質問を多数いただき、出場者にとっても自らのプランをさらに発展させる機会になったと思います。



最後にになりましたが、審査員の皆様、出場者の皆様、ご協賛いただいた皆様、当日ご来場下さった皆様、お陰をもちまして大変盛況に開催することができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。この事業をきっかけに府中で新たな事業が生まれる事を期待しております。

地域再興委員会 委員長 北川慶祐

ブラモンデン

今回のお店「樹 (いつき)」
府中市府川町 89-6

とある日曜の午後、日曜休みのお店が多くJCニュース担当の北川君と、どこをブラリしようか困りながら車を走らせていると、よく通っているはずの道なのだが今まで気がついていない喫茶店の看板らしきものが目に入った。そこは一見すると民家のように見えるが回り込んで入り口を確認すると営業中の看板がかけられてあり、迷わず今回はこのお店に決定！府中の町並みに溶け込んでいる喫茶店「樹 (いつき)」が今回のお店です。

店内は気負うこともなく普段話さない事も話せ、時間があつという間に過ぎていた。西日の入る落ち着いたあの雰囲気のお店だからこそかもしれない。会計の時にダメ元で最後にもう一度確認してみようとレジに向かうとマスターと夫人がいらっしまったので、夫人の方を向きJCニュース掲載について何うと「あなた山岡君でしょ？」と質問返しをされるというハプニング。山岡さんのおかげでその後、和やかなムードとなり承諾を得られました。ありがとうございます。詳細は書けないが、このお店の一角には珍しい上に懐かしいスペースがある。ここで語るより実際に来店して確認してみてください。はまった世代の人には涙ものかと。



店内に入ると大きな本棚があり綺麗に整頓されている漫画や新聞などが並べてあり、その上の注意書きには「元に戻せないなら本読むな」と書いて

ある。かなり几帳面なマスターなのであろう。店内に足を進めてみると机やソファなどは年代を感じるが隅々まできれいにしてあり清潔感のある店内が気持ち良い。ソファ席に着き早速マスターにJCニュース掲載についての話をしたら「わしに聞かれてもなあ〜。」とだけ返事を残しカウンターの定位置へ帰還。見たところ店内には他の従業員も見えない事より、我々に残された手段は注文を多めにするという事だと認識し、昼食を済ませた北川君にも注文してもらった。本にはあんなに几帳面なのにカツカレーのカツが全然並んでない状態が出てきた時も、マスターはJCニュース掲載に関しては触れることなく、配膳が済むとカウンターの定位置へ帰還。私はもうここで半ば交渉は諦め、落ち着いた味の美味しいカツカレーを食べながら北川君と雑談。テレビの音がBGMの

店内は気負うこともなく普段話さない事も話せ、時間があつという間に過ぎていた。西日の入る落ち着いたあの雰囲気のお店だからこそかもしれない。会計の時にダメ元で最後にもう一度確認してみようとレジに向かうとマスターと夫人がいらっしまったので、夫人の方を向きJCニュース掲載について何うと「あなた山岡君でしょ？」と質問返しをされるというハプニング。山岡さんのおかげでその後、和やかなムードとなり承諾を得られました。ありがとうございます。詳細は書けないが、このお店の一角には珍しい上に懐かしいスペースがある。ここで語るより実際に来店して確認してみてください。はまった世代の人には涙ものかと。

地域再興委員会 委員 門田和也

FUCHU JC STREET DANCE FESTIVAL in HATAKAKO 2016



10月2日(日)に羽高湖森林公園にて「FUCHU JC STREET DANCE FESTIVAL in HATAKAKO 2016」を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、県内各地・県外から合わせて23チーム、約150名の子ども達にご参加頂きました。初めてステージに立つという子ども達もいましたが、皆、元気いっぱい、笑顔でこれまで練習してきた成果を十分に発揮しダンスパフォーマンスを行いました。

最後にはゲスト審査員によるダンス教室も行い、多くの子ども達が参加して大変盛り上がりしました。今回、2回目の開催となったダンスフェスティバルですが、今年も子ども達にとって良い経験になり、思い出に残る素晴らしい事業になったのではないかと思います。この事業を開催するにあたってご協力頂いた関係者の皆様、そして保護者の皆様に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。表彰は下記のとおりになります。賞をもらったチームの子ども達も、もらえなかった子ども達もこの経験を糧に今後、ますます頑張ってくださいと思います。

小学生の部表彰

最優秀賞 FELLOWSHIPS
優秀賞 瀬戸田プチレモン
審査員特別賞 S・K☆DANCERS

18歳以下の部表彰

最優秀賞 aiMON
優秀賞 DRAW4
審査員特別賞 LOVE ART

青少年育成委員会 委員長 福田竜也

9月担当例会

9月12日(月)に「ペップトーク～自信や勇気を与える魔法の言葉～」と題し、日本ペップトーク普及協会認定講演講師の崎谷先生をお招きして講演を行いました。「ペップトーク」の「ペップ」とは「元気」「活力」といった意味です。この担当例会には一般の方々にもご参加頂いて、子ども達に対する言葉がけについて聞いて頂き、実際にどのような言葉がけをすればいいのか実践ワークを交えながら進めていきました。

この講演を通じて参加された皆さまには、大人が子ども達に投げかける言葉の重要性を知って頂けたのではないかと思います。是非、今後、このペップトークを使って頂き、子ども達に自信や勇気を与え、背中を押してあげて頂きたいと思えます。

青少年育成委員会 委員長 福田竜也

2016年度忘年例会

12月10日に本年度の締めくくりとなる忘年例会を福山市の「パティ・パトニ」にて開催しました。結婚式にも使われるチャペルで執り行いましたセレモニーと卒業式は厳粛な雰囲気となり、バンケットホールで行った懇親会は打って変わってとても華やかな雰囲気となりました。本年度卒業される藤岡武志卒業生・栗本

淳二卒業生・藤本英一郎卒業生には、卒業式の動画や寒さに耐えての懇親会入場など長年にわたるJC生活の最後の一日を思い出に残るものにさせて頂きたく、いざさかの演出を用い、その勇往邁進たる背中をお見送りさせて頂きました。

懇親会におきましては、小野申人副会長・高橋良昌幹事長よりご挨拶を賜り、次年度へ向けて河村次年度理事長予定者並びに四役の紹介をさせて頂きました。

最後となりましたが、何かとご多忙の折にもかかわらず、ご出席を賜りました諸兄におかれましては、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、不慣れなことで不行き届きの点が多々ございましたこと、心よりお詫び申し上げます。ありがとうございました。

まつりノ饅飴委員会 委員長 蛭田大梧

広島ブロック野球大会

中国地区野球大会が9/25(日)に山口県光市にて開催されました。広島県3位として出場し、あえて去年優勝の宇部JCに対戦を挑みました。それは、勝てるという自信があったからです。2点先制しリードで迎えた最終回、まさかの出来事が起こりました。ミスの連鎖が止まらず、サヨナラ負けをしてしまいました。宇部JCは、そのまま昨年に引き続き2016年度も優勝されました。しかし、府中JC野球部一同は、

中国地区の優勝に可能性はあると感じられた一日となりました。

野球部主将 小野隆義

会員拡大報告

本年度は10名の拡大目標に対し、11名入会という結果になりました。思い返せば2015年度は会員数27名でのスタートでしたが、当時の理事長や拡大委員長が強い危機感と行動力で8名の入会という結果を残されました。そして2016年度は私が拡大を引継ぎ、井上理事長からは前年度を上回る拡大をしてほしいと言われ、会員拡大会議メンバー全員が率先して動き、現役会員・特別会員の方々に多くのご協力をいただきました。途中、拡大活動で中々候補者が見つからない、進捗がおもわしくない時期もありましたが、その度に井上理事長からは「拡大は結果が全て」という叱咤激励をいただき、何とか目標を達成することができました。ご協力いただきました皆さまには本当に感謝しております。誠にありがとうございました。

最後に、次年度も拡大は続きます。ぜひ、本年度同様に、皆様からのご協力を、よろしくお願い致します。

会員拡大会議 議長 平慶一郎

第41回JC旗争奪少年野球大会



第41回JC旗争奪少年野球大会を10月16日(日)10月22日(土)の2日間に渡って開催しました。本大会が小学生最後の試合となる子が多くいます。優勝を目指し日々努力をし、チームワークを高めてきた成果を発揮する、集大成の場に携わることが出来ることを大変うれしく思っております。子ども達には、この経験をこれからの糧にして更なる飛躍のきっかけにして頂きたいです。また、懇親会で各チームの監督や保護者の方と話す機会があり、本大会を親子含め小学時代を野球に費やした努力の集大成の場という意味で重要視して頂けている事が伝わりました。そして、勝負以外の部分での心の成長も大切にしてい

るJCの思いが浸透していると確認できた懇親会となりました。また、2017年度も野球連盟の方や各チーム関係者の皆様とともに素晴らしい大会となりますことを祈念しております。

事務局専任理事 小野隆義

ふちゅう大学誘致の会 始動!!



7月25日に発足した「ふちゅう大学誘致の会」は、11名のメンバーでスタートし、半年間調査と議論を続けて参りました。関連する法律・制度や府中市の現状、誘致事例について調査し、一部の学校法人や文部科学省へのヒアリングを行って参りました。来年度からは、より広範囲に対して詳細な調査を引き続き行うと同時に、学校法人・府中市・広島県などとの交渉にも順次入って参ります。

地域再興委員会 委員長 北川慶祐

第65回全国大会 広島大会

10月6日～10月9日に第65回全国大会広島大会が開催されました。当青年会議所は副主管LOMとして本大会の準備・運営に携わっていきました。広島市内各所で全国のJCメンバーをおもてなし「今一番勢いのある広島」を感じていただいたように思います。そして、「地域たからいち」では府中名物のみそかりんとうを配布し、府中の魅力を全国へ発信していったように思っております。

全国大会運営会議へ出向しているメンバーをはじめ、会員全員でこのような大きな大会の運営は今までになく



、大変貴重な経験になりました。また、年当初から私は全国大会副主管は会員の協力なければ成し遂げられないと思ひ、随所で協力をお願いをしておりました。恐らく、平日の仕事や予定があったのにも関わらず無理をして来ていただいたメンバーが多数いると思います。メンバーの皆様には協力のお願ひに応えていただき本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

専務理事 栗原大高

新入会員紹介

溝上 法光

この度、府中青年会議所に入会しました溝上法光です。私は中学卒業後から一人地方に出ており、20代後半から府中市に帰って来た為、地方に友達が多いのですが、府中市の事を地方の友達に話すと必ず「どこ?」「何も無いね」と言われます。これはやはり自分が生まれ育ち働いてる中で誰もが屈辱だと考えます。しかし府中JCはその「どこ?」「何も無いね」を変えられる場だと考えます。私は36歳です。在席できるのは僅か4年と短い期間ですが、府中JCに入ったからにはLOMの方々を合わせ府中市を盛り上げ、地方の方に「どこ?」「何も無いね」と言われる人を一人でも少なくしたいと思っております。至らぬ点は多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

平 康太郎

府中に17年ぶりに戻ってきました。町全体として、何も変わっていません。悪い意味で。もちろん、道路が多少広くなったり、店が新しくなったり、最低限の変化はありますが、周りの地域に比べてどうでしょうか。歴史を重んじることはとても重要なことですが、それに甘ん

じて変化を避けていては維持すらおぼつきません。今の府中にはそんな印象を抱いています。少なくともJCとは町の中で変化を牽引していく組織だと信じて入会しましたので、5年という短い期間ですが、1つでも体現できるよう精進していきます。

伊豆田 浩央

この度、府中青年会議所に入会させて頂いた伊豆田浩央と申します。仮入会員の段階から委員会事業にも参加し、とても良い経験をさせて頂いております。私は約10年間地元を離れ、数年前に地元に戻って参りました。戻ってみてやっぱり地元はいいなあと思う一方、活気が足りないと感じる事もしばしば有りました。そんな中、非常に熱心に勧誘をして頂き、仕事と両立できるだろうかと悩みましたが、地元の為になる面白い事が出来るのではないかと感じ入会を決心致しました。これから府中青年会議所で活動していくにあたり、まずはしっかりと諸先輩方から学びながら少しでも貢献できるよう努力して参ります。そして、私自身も地元の為になんか出来るのかを真剣に考え、実行して参りたいと思っております。まだ分からない事も多々有り、未熟者ではございますが、皆様のご指導・ご鞭撻賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

新入会員紹介

藤井 昭徳

この度ご縁がありまして、府中青年会議所に入会させていただきました藤井昭徳です。私は府中市土生町の釈迦院という寺院の住職をさせていただいています。

お寺の将来を考えた時、今のまま府中市の高齢化や過疎化が進んでいけば、お寺を支えてくださる人はいなくなり、護持ができなくなる時が必ず来ます。そうならない為に、地域の為に何かをしなければいけないという思いを持っていました。

これからのJCの活動を通して、何かをしなければいけないという思いを具体的に地域のために活動して行きたいと思えます。まだまだ未熟者ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

芦田 玄

この度、府中青年会議所に入会させて頂いた芦田玄です。

私は仕事柄、府中市民の方と関わることが多いのですが、そこで府中市の高齢化というものを肌で感じます。

街には若い力が必要で、私個人としてはそういった力を引き出すのがJCであると考えております。

そのためこれからも府中JCにて府中市が発展していくことをお手伝いさせていただきたいです。

まだ分からないことも多くご迷惑をおかけ

を行いました。

その年は合計9委員会あり、メンバーは総勢約50名でした。その中から各委員会に4、5名しかおらず自由に動ける人間が1名しかいなかった思い出があります。そもそも委員会で1名が欠席すると委員会が成り立たないような時代でした。本当に大変だったという意味で最も印象に残っています。

Q. 学んだこと・身についた事は？

人前で話をする事や自分の思いを伝えることができるようになるためには事前の準備が大事だということを学びました。今後もこの経験をきつと活かせると思えます。

Q. 今後のJCに期待することは？

私が所属することが多かった青少年委員会に関して言わせてもらおうと、青少年事業は対外の実業がメインになってきます。その中でもやはり、他団体との共同の実業をもっとやっていってほしいと思います。うまく他団体と協力して事業を行っていけば、いずれ移管できる体制を作れると思うし、そしたら、また新しい事業を行うことができます。JCの本来的なやるべき姿と一致すると思えます。



することも多いと思いますがご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

卒業生インタビュー

藤岡武志 卒業生

Q. 最も印象に残っている事は？

セクレタリーをした時ですね。ほぼ分からないまま受けて、初めて正副理事会に出て、反対意見があったり、様々な意見が飛びかかったりする中で、色々な手法で先輩方が議論を重ねていくのを見て勉強になったので最も印象に残っています。



Q. 学んだこと・身についた事は？

人前で話すことと、相手に伝える力を学んだと思います。相手に10言ったことが10伝わるとは思っていないです。皆も感じていると思いますが、どんどん役職が上に上がっていく中で、社員に対して自分が言ったことを相手に理解してもらうことは重要で、その為にしっかりと相手に伝える力を学ぶことが重要です。

Q. 今後のJCに期待することは？

対外事業も大事だが、もう少しメンバー自身が勉強をする事業もしてほしいなと思います。昔は毎年テーマを持ってセミ

他団体としっかり協力していくことで、事業の幅も広がり、JCの認知度も向上していけばいいですね〜！継続って難しいと思うけど、きっかけを作ることが大事だと思います。

Q. 現役会員へ一言

人の良いところを共有しましょう。自分が委員長をやる時までに今までの委員長のやっていることをしっかり見て、参加して、自信をもってやってほしい。福田みたいに〜〜〜！

藤本英一郎 卒業生

Q. 最も印象に残っている事は？

委員長をやった時ですね。EQ（心の知能指数）に関するセミナーを行いました。その時は、毎回の委員会の後に次の（まだ上程の始まってない）事業の相談をしていました。

Q. 学んだこと・身についた事は？

私が委員長だった時に卒業生だった内田芳嗣先輩が「誰も受けないなら自分がやる、逆にチャンスだよ。」という考え方は今でも大切にしています。

Q. 今後のJCに期待することは？

社会開発と研修の実業をもっとやっていってほしいと思います。好奇心を持っていけば、研修を計画する方も受ける方

ナーをやっていたし、4時間のセミナーを2日続けてやったこともあります。自分達の下地を作るような勉強ができる事業をしてほしいと思います。今の人数で求めることは難しいと思うが、会議の進め方とか物の進め方の勉強をしても良いと思います。私が経験した中では、表現力を身に付けるようなセミナーや経営理念を考えたり発表したりするセミナーが印象に残っています。

また、自分達のルールに則った会議の進め方をしてほしいなと思います。今のルールに捉われるのではなく、今の自分達に合ったルールに変えていくことも必要だと思います。ただし、楽な方に変えるのではなく、モチベーションが高くなる方向に変えていってもらえれば良いと思います。

Q. 現役会員へ一言

自ら楽しんでほしいと思います。しんどいこともあるけど楽しいことを見つけて活動してください。

栗本淳二 卒業生

Q. 最も印象に残っている事は？

2007年の1回目の委員長の時にやったOBSの実業ですね。野外活動で子どもとキャンプをしてロッククライミングと川遊びをしました。その事業は予算を100万円で予定していたが、1万円になってしまい、そのため夢基金を活用しました。結果的には総予算200万円の予算で事業

も楽しく有意義な事業ができると思う。また、後輩に受け継ぐという所までが先輩の仕事だと思う。私達の世代は充分できていないが、先輩が大きな夢を掲げて、その中で後輩が自由に動くという経験を私はしてもらっていた。そういう事をこれからやっていって欲しい。



Q. 現役会員へ一言

現役会員の皆さんは選ばれた人間だという自覚を持って欲しいです。会社の看板やまちの未来を託されている人間だからこそ、する事に対して責任を負わないといけない、という自覚を持って欲しい。

JC News No.504
(2016年12月20日発行)

発行人 一般社団法人 府中青年会議所
〒726-0003 広島県府中市元町 445-1
府中商工会議所 2F
TEL 0847-45-2648 FAX 0847-45-2984
メール fuchujc@fuchu.or.jp

ホームページ URL (※2016年より変更)
<http://www.fuchujc.com>